

LBC検体自動分注装置 「トムキャット™システム」

ThinPrep®バイアルから遺伝子検査へ。信頼のオートメーション
～ワークフローの更なる効率化をめざして～

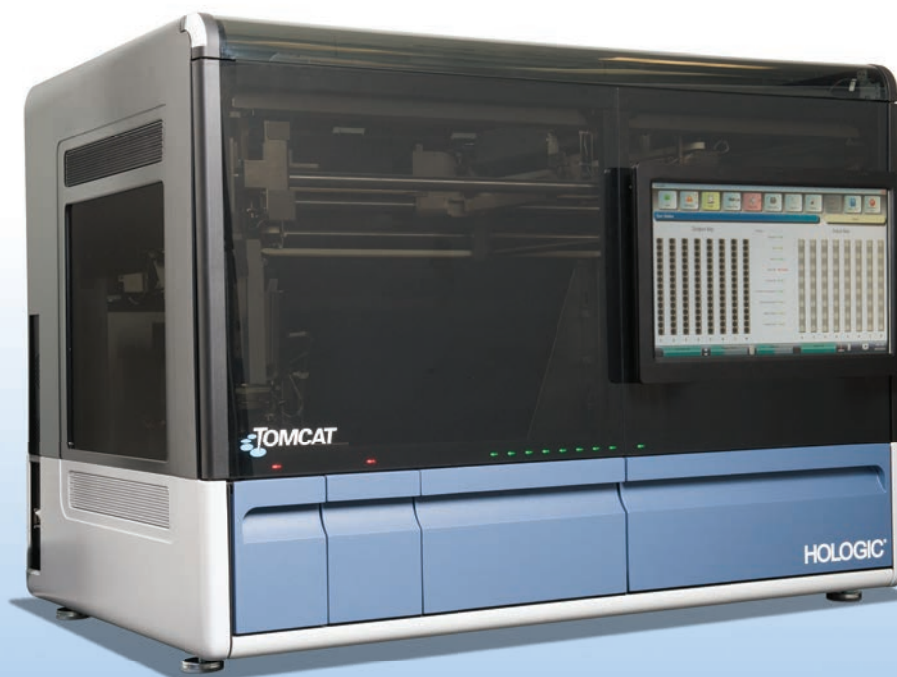
トムキャット™システムは、ThinPrep®婦人科用プレザーブサイト液（ThinPrep®バイアル）からパンサー®システムでの遺伝子検査のためのLBC検体自動分注装置です。手作業による検体分注は、非効率であり、潜在的にミスが発生させやすい作業です。検体分注を自動化することにより、効率性を向上し、ミスの発生をシステムチェックに排除できます。

トムキャット™システムの導入は、遺伝子検査に効率的なワークフローをもたらし、生産的なラボ運営を可能にします。

トムキャット™システムの動作

- ・ ThinPrep®バイアルのバーコードのチェック
- ・ パンサー®システム用チューブへのバーコードの自動印字
- ・ ThinPrep®バイアルの攪拌
- ・ ThinPrep®バイアルキャップの取り外し
- ・ ThinPrep®検体の分注
- ・ ThinPrep®バイアルキャップの取り付け
- ・ パンサー®システム用ラックへのチューブの配置

※BDシュアパス™バイアルの場合はパンサー®システム用チューブへの分注は手作業で行い、その後の専用試薬による処理を自動で行います。



手作業による検体分注作業の課題

手作業による遺伝子検査前の検体分注は遺伝子検査におけるピットフォールであり、ワークフローのボトルネックです。

- ・ クロスコンタミネーションリスク
- ・ 検体の取り扱いリスク
- ・ 多検体処理時のオペレータの負担
- ・ 標準化されていない分注作業



トムキャット™システムによる改善提案

- ThinPrep®バイアルからの検体分注を
オートメーションで！※
 - － 分注作業を検査室内で標準化できます。
 - － クロスコンタミネーションリスクを軽減します。
- ThinPrep®バイアル、パンサー®システム用チューブチップ、
廃棄物の装填と取り出しは随時可能。
ワークシート作成を必要としない
フレキシブルなワークフローを提供します。
- LBCから遺伝子検査まで検体IDが確実に引き継がれる
トレーサビリティにより、**検体取り違いミスを防ぎ、
信頼性が向上します。**
- **効率的なワークフロー**を提供します。
 - － 平均ハンズオンタイム：約2秒／検体
 - － タッチスクリーンインターフェース



※BDシュアパス™バイアルの場合はパンサー®システム用チューブへの分注は手作業で行い、その後の専用試薬による処理を自動で行います。

トムキャット™システム仕様

サイズ	109.2cm(幅) x 71.1cm(奥行) x 76.2cm(高さ)
設置面積	121.9cm(幅) x 91.4cm(高さ)
重量	136kg
電源出力	600ワット, 100~240 VAC, 50~60Hz, 10A

所用時間／検体

90秒／ThinPrep®婦人科用プレザーブサイト液

処理能力

300検体／8時間(ThinPrep®婦人科用プレザーブサイト液)

検体・廃棄物格納数

8検体入りラック8個(64検体)を同時に設置可能
15検体用パンサー用ラック8個(120検体)を保持可能
廃棄物格納数：192チップ相当

ホロジックジャパン株式会社

本社：〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル TEL.03-5804-2340(代) FAX.03-5804-2320

Hologic, Tomcat, ThinPrepはHologic, Inc.およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

©2014 Hologic, Inc. All rights reserved.

HOLOGIC®